

「アーティスト・イン・レジデンスつなぎ」は、2014年から2019年にかけて毎年1人の画家を招いて実施した滞在制作プログラムです。6人の画家は津奈木町の空き家に約4ヶ月間滞在し、地域と交流しながらつなぎ美術館での個展開催を目指して制作に臨みました。滞在中に制作し個展で公開した作品の一部は津奈木町ゆかりの作品として、つなぎ美術館が収蔵しています。本展では、各画家のつなぎ美術館収蔵品と新作*のほか、当時の活動の様子を伝える資料を展示します。

* 篠塚聖哉を除く



篠塚聖哉《現れる》2014年
つなぎ美術館蔵



武内明子《台風の日》2015年
つなぎ美術館蔵



幸田千依《何時しかの夕暮れ》2016年
つなぎ美術館蔵



加茂昂《海と子供の光景の肖像》2017年
つなぎ美術館蔵



富田直樹《Night road》2018年
つなぎ美術館蔵



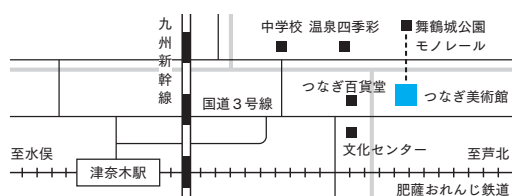
大平由香理《華島》2019年
つなぎ美術館蔵

*掲載作品は参考作品です。

台湾×津奈木 2022

2月上旬公開 /
クロージングビデオ
YouTube つなぎ美術館

つなぎ美術館では、「アーティスト・イン・レジデンスつなぎ」の後継企画として、台湾のアーティストを招聘する新たなレジデンスプログラムを計画しています。この新たなレジデンスプログラムの紹介も兼ねて、台湾のキュレーターによる台湾の現代アートシーンなどを紹介する動画をクロージングビデオとして2月上旬に公開します。詳細はあらためてホームページとSNSでお知らせします。



Facebook / @tsunagiartmuseum

Twitter / @tsunagiart

Instagram / tsunagiartmuseum

肥薩おれんじ鉄道津奈木駅から徒歩10分
九州産交バスつなぎ温泉前バス停から徒歩2分
南九州西回り自動車道津奈木ICから車で3分
JR九州新幹線新水俣駅から車で10分
※運行状況・道路状況は事前にお調べください。

12/5(土)
14:00-15:00

開幕記念座談会

ゲスト

幸田千依 加茂昂 富田直樹 大平由香理
柳沢秀行(大原美術館学芸統括)

会場: 1階展示室 参加費: 観覧料のみ

定員: 30人(事前申込不要・当日先着順)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等のため内容を変更する場合はホームページとSNSでお知らせします。

つなぎだヨ! 全員集合

篠塚聖哉 SHINOTSUKA Seiya \ 2014年参加 /

1970年熊本県生まれ。多摩美術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業。対象が存在した痕跡とその意味を象徴として画面に表し続けてきた。近年はこれまでにない新たな表現を追求している。京都府在住。



武内明子 TAKEUCHI Akiko \ 2015年参加 /

1983年熊本県生まれ。東京造形大学絵画専攻卒業。自己の重層的でうつろう内面を色と形によって再構成し情景として外界へ解き放つ。アートユニット「ワタリドリ計画」として活動。2020年に拠点を東京都から熊本県に移した。



幸田千依 KODA Chie \ 2016年参加 /

1983年東京都生まれ。長崎市育ち。多摩美術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。日々の暮らしを作品へと収斂させてゆく画家としての頑な姿勢は、日常のなかにあっても揺るぐことのない強度のある作品を生み出している。埼玉県在住。



加茂昂 KAMO Akira \ 2017年参加 /

1982年生東京都生まれ。東京藝術大学大学院絵画研究科修士課程修了。人や出来事と丁寧に向き合い、人間の知覚の限界を問いつつ、目に見えない社会や個人のさまざまな事象の作品としての可視化を試みている。埼玉県在住。



富田直樹 TOMITA Naoki \ 2018年参加 /

1983年茨城県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科油画研究領域修了。これまで取り組んできた「0 / 無」に加え、近年は状況に対する人間の反応に関心をもって制作に臨んでいる。茨城県在住。



大平由香理 OHIRA Yukari \ 2019年参加 /

1988年岐阜県生まれ。東北芸術工科大学大学院芸術文化専攻日本画研究領域修了。人間の力が及ばない大自然を固有の視点で捉え続けている。「アーティスト・イン・レジデンスつなぎ」への参加を機に2020年7月には津奈木町へ移住。



つなぎ美術館
TSUNAGI ART MUSEUM

〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城494
TEL 0966-61-2222 FAX 0966-61-2223
www.town.tsunagi.lg.jp/Museum/